



カタールの和平調停 ～イラン戦争、ガザ紛争、アフガン戦争～



ガッサン・エルカロウト

イラン戦争やガザ紛争など中東で激しい戦争が続く中、紛争当事者の間を仲介し和平合意を結ぶための「和平調停」活動を国是として懸命に続けるカタールの仲介外交について、カタールの和平調停研究の第一人者であるガッサン研究所長にお話頂きます。また米国とタリバンの仲介をしたカタール外交の経験も話して頂きます。カタールの和平調停の意義や課題、中東の平和作りの困難と展望、今後の中東和平に向けた日本との連携についても考えます。**(カタール和平調停連続講演シリーズの1回目にもなります。)**



冒頭挨拶

三宅 浩史 外務省中東アフリカ局審議官 (TBC)
赤堀 雅幸 上智大学教授、上智大学学術研究担当副学長



基調講演

ガッサン・エルカロウト 准教授
カタール・ドーハ「紛争・人道研究センター」所長
「地域戦争の時代におけるカタールの和平調停：
ガザ、イラン、アフガンからの教訓」



質疑応答

ガッサン・エルカロウト
コメンテーター：赤堀 雅幸
コメンテーター/企画・司会：
東 大作 上智大学教授 上智大学国際関係研究所長



三宅 浩史



赤堀 雅幸



東 大作

申込・詳細



オンライン



対面

日時：2026.10.6 (火) 19:10～21:10

会場：2号館17階 国際会議場またはZoom

対象：学生・一般 言語：日本語・英語(同時通訳あり)*

無料・オンライン参加は要登録

*通訳音声はオンラインでZoomに入ることで利用できます。通信に係る費用は参加者のご負担となります。会場でスマートフォン等からZoom音声を聞く場合はイヤフォンを持参して頂ければ幸いです。